

## 第14回エコカーボン研究会

炭素材料学会では、炭素材料と環境とのかかわりをさまざまな分野から広く考えようと「エコカーボン研究会」を創設しました。第14回研究会は、平成25年8月29日(木)に福島大学で開催する運びとなりました。今回は下記の6名の先生方を講師としてお迎えし、それぞれのお立場からご講演をいただく予定です。また、一般参加者による口頭発表(15分)およびポスター発表も行いますので、ご参加、ご発表をお願い申し上げます。

### \*ご講演

#### 「バイオマス資源の循環型処理技術を用いた多孔質炭素材料・ウッドセラミックスの開発」

青森県産業技術センター工業総合研究所所長 岡部敏弘氏

青森ヒバ廃材や国産材の間伐材を有効利用することで開発されたバイオマス資源の循環型処理システムについて説明する。そして、青森ヒバ廃材から水蒸気蒸留法により青森ヒバ油やさらに抽出後の廃材を炭化処理のときに出る木タールから減圧蒸留して得られる木酢油の製造方法について、さらに木酢油を用いた木材液化物(フェノール系液化物)を含浸させて無酸素下で焼成して得られる多孔質炭素材料・ウッドセラミックスの利活用について述べる。これらの技術は、青森ヒバのみならず、ほかの間伐材、建築廃材にも利用できる。また、バイオマス資源の木材・木質材料などは、人間が植林、育成、伐採などを計画的に行う限りにおいては、持続性が保たれていることから、バイオマス資源の循環処理システムを構築して持続する社会を目指すものである。

#### 「天然素材を利用したナノ炭素複合材料の機械的特性について」

福島大学教授 小沢喜仁氏

バクテリア・セルロース(BC)は酢酸菌が作り出すナノオーダーのマイクロフィブリルである。新たに開発した直接含浸法によりBC繊維網にフェノール樹脂を含浸させて作製した中間成型体を焼成することによりナノ炭素複合材料を得た。その成形法を解説し、さらに摩擦摩耗特性などの機械的特性について紹介する。

#### 「もみ殻に由来するカーボン系機能性材料の開発」

秋田大学准教授 熊谷誠治氏

もみ殻はその約20質量%がシリカで構成される特徴的な性質を有する木質系バイオマスである。本講演では、もみ殻に含有されるシリカを天然鑄型として利用することで製造するマイクロ・メソポーラス活性炭の製造方法について説明する。そして、その活性炭の燃料油中の硫黄化合物の吸着除去特性および電気二重層キャパシタ電極として容量特性について述べる。さらに、優れた摺動特性および強度特性を有するもみ殻由来のカーボン系構造材料の製造方法と特性について述べる。

#### 「木質系炭化物を使った放射性物質の吸着」

岩手県環境保健研究センター上席専門研究員 佐々木 陽氏

3・11の震災で生じた福島原発事故による膨大な量の放射性物質の拡散は、世代を超えた環境問題として多くの課題を後世に残すこととなった。それは除染技術の確立や放射性物質との共存をいかに行っていくのかという未来に向かった技術的な知恵の提示を意味する。今回はコーンコブ炭化物を中心に、炭化物によるセシウムイオンの吸着特性、農作物への移行阻止効果、新たな吸着剤の開発について、ご紹介する。

#### 「炭を撒いてナラ山を助ける」

森びとプロジェクト委員会理事 宮下正次氏

福島県大沼郡金山町の国有林12ヘクタールをお借りして、炭を撒きました。コナラを中心とする樹齢90年を超えた過熟の保安林で、すでにカシナガキクイムシが50%以上の木に入っていて、専門家は2・3年のうちに枯れると診断しました。2011年の秋に炭を撒いて1年経過したコナラ林は、カシナガの入った穴から樹液が流れ、根には菌根を付け、コナラは元気になり、カシナガはどこかに逃げてしまいました。

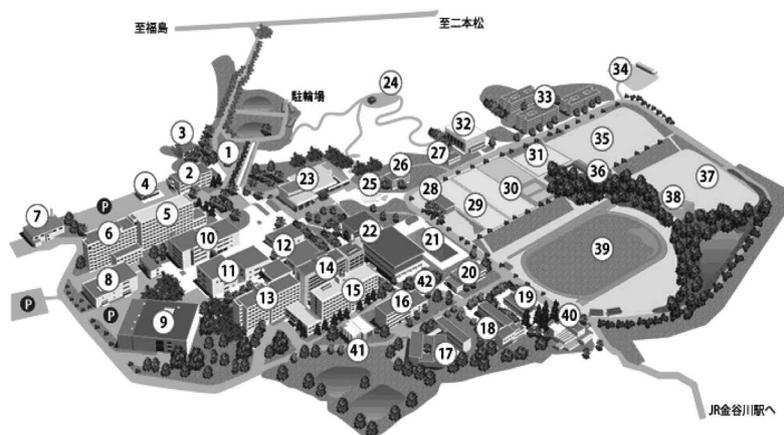
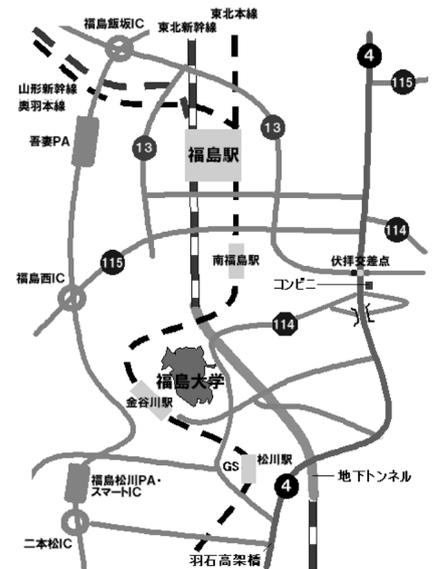
「木炭を用いた放射性セシウム除染の可能性について」 秋田県立大学木材高度加工研究所教授 山内 繁氏  
多孔質吸着媒である木炭は、生産量、価格、安全性などの点からも放射性セシウムの吸着剤として、実用性を早急に検討すべき物質のひとつである。講演では、種々の条件で行った水溶液中での木炭に対するセシウムイオン吸着実験の結果と、それをもとに考察した吸着のメカニズム、そしてセシウム除染に木炭を用いることの可能性について述べる予定である。

エコカーボン研究会会長 吉澤秀治  
世話人 児玉昌也  
宮嶋尚哉  
小幡 透  
安彦泰進  
亀山幸司  
浅田隆志  
佐藤伸二郎

<記>

### 第14回エコカーボン研究会

日 時：2013年8月29日(木) 10:30～  
場 所：福島大学 (〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地)  
主 催：エコカーボン研究会  
共 催：福島化学工学懇話会  
協 賛：炭素材料学会、公益社団法人化学工学会東北支部  
会 場：共生システム理工学類 後援募金記念棟 会議室 (キャンパスマップ41番)  
懇親会：レストラングリーン (大学会館2階, キャンパスマップ23番)  
アクセス方法：福島大学のHP (<http://www.fukushima-u.ac.jp/new/18-koutu/index.html>) をご参照ください。  
JR 福島駅→ (約10分) → JR 金谷川駅  
\*「金谷川駅」から会場まで徒歩約10分



参加費用（単位：円，消費税込）：一般：研究発表会 ¥4,000 懇親会 ¥4,000  
学生：研究発表会 ¥1,000 懇親会 ¥2,000

支払方法：参加申込をされた方は参加費用を下記宛送金してください。送金手数料はご負担くださるようお願いいたします。

（ゆうちょ銀行間）記号：10170 番号：93778081 総合口座  
（他銀行からゆうちょ銀行への振込）店名：018 店番：018 預金種目：普通 口座番号：9377808  
（名義人：両口座共通）エコカーボン研究会（エコカーボンケンキュウカイ）

参加を希望される方は、次頁の研究会参加・発表申込書にご記入のうえ、ファックスかメールでお送りください。締切りは8月19日（月）です。

口頭発表（15分）およびポスター発表を申込まれる方は、次頁の研究会参加・発表申込書を送付のうえ、発表要旨A4判2ページ以内にまとめて、メール（Wordファイルかpdfファイル）でお送りください。

締め切りは7月26日（金）です。

要旨のWordの様式は、以下からも入手できます。（英語の部分は省いても構いません）

<http://www.hino.meisei-u.ac.jp/es/yoshizaw/eco-carbon/>

宿泊施設：JR福島駅周辺に宿泊施設が多数ございます。ご予約は各自でお願い申し上げます。

<お問合せ・参加申込書・発表要旨 送付先>

〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1

明星大学理工学部 吉澤研究室内エコカーボン研究会事務局 担当：宮田，田中，吉澤

TEL/FAX: 042-591-7346 E-mail: [rie.miyata@meisei-u.ac.jp](mailto:rie.miyata@meisei-u.ac.jp), [yoshizaw@es.meisei-u.ac.jp](mailto:yoshizaw@es.meisei-u.ac.jp)

エコカーボン研究会ホームページ: <http://www.hino.meisei-u.ac.jp/es/yoshizaw/eco-carbon/>

<現地連絡先>

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

福島大学 共生システム理工学類 産業システム工学専攻 浅田隆志

TEL/FAX: 024-548-8177 E-mail: [tasada@sss.fukushima-u.ac.jp](mailto:tasada@sss.fukushima-u.ac.jp)

## 第14回エコカーボン研究会 参加・発表申込書

第14回エコカーボン研究会事務局 行

FAX: 042-591-7346 E-mail: rie.miyata@meisei-u.ac.jp, yoshizaw@es.meisei-u.ac.jp

〆切 8月19日(月)

種 別	一 般 ・ 学 生
所属機関名・部署	
参加者氏名	
連絡先住所	
連絡先電話番号	— —
E-mail アドレス	@
懇親会	申込む ・ 申込まない

\*複数参加の場合は、参加者それぞれが申込書をご送付ください。

### 発表を希望する場合

発表形式 口頭発表（15分）・ポスター発表（○をつけてください）

発表タイトル 「 \_\_\_\_\_ 」

発表者氏名（所属） \_\_\_\_\_

連名者氏名（全員）、ふりがなを付記・登壇者には○印 \_\_\_\_\_

口頭発表方法 会場パソコン・パソコン持ち込み（○をつけてください）

\*参加費を公費でお支払いの場合は、下記各事項を漏れなくご記入ください。

参加費請求先名称 \_\_\_\_\_

参加費請求先住所 〒 \_\_\_\_\_

連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

請求時必要書類 見積書・請求書・納品書・領収証（○をつけてください）

## 第9回スキルアップセミナー

### 「電気化学キャパシタの最前線を探る： 電気二重層からハイブリッドまで、炭素材料の果たす役割」

小型モバイル機器から大型の定置設備に至るまで、高速充放電を受け持つデバイスとして、電気化学キャパシタが果たす役割はますます重要になっています。さらに最近では、減速時の回生エネルギーを利用するマイクroハイブリッド（市販）車に採用され、いよいよ車載用途が本格化してきたのは特筆すべき進展といえます。このような展開を支える土台であるキャパシタ用電極は、ご存じのように炭素材料が担っています。今後さらに厳しくなると予想されるデバイスの性能面への要求に対し、炭素系電極材料の開発と改良によるスピーディーな対応が、いままで以上に必要になると考えられます。本セミナーではこの分野にかかわりや興味のある方々に向けて、電気化学キャパシタの現状を俯瞰するとともに、新規材料研究の方向性や企業による開発動向など、多面的な視点からのアプローチを行います。

日 時：平成25年9月6日（金）10:00～16:40

場 所：連合会館（旧称：総評会館）201会議室

主 催：炭素材料学会

協 賛：（予定）日本化学会、電気化学会、日本表面科学会、キャパシタ技術委員会

定 員：90名

参加費：正会員（協賛学協会含）・賛助会員25,000円、学生会員5,000円、非会員35,000円、学生非会員10,000円（消費税およびテキスト代を含む）

#### プログラム

- (1) 10:00～11:00  
「キャパシタの開発動向（仮題）」（森本技術士事務所）森本 剛
- (2) 11:05～12:05  
「電気化学キャパシタ炭素電極における新規開発の方向性」（群馬大学）白石壮志
- (3) 13:30～14:30  
「ハイブリッドナノカーボン電極を用いた水系電気化学スーパーキャパシタ」（大分大学）豊田昌宏
- (4) 14:35～15:35  
「大容量キャパシタの現状と将来」（日本ケミコン株式会社）石本修一
- (5) 15:40～16:40  
「リチウムイオンキャパシタへの炭素材料の応用」（JMエナジー株式会社）小島健治

申込方法：郵便振替での支払いを希望される方は、学会HPから8月22日（木）までにお申込みください。クレジットカードでの決済の場合、申込登録は、9月3日（火）まで受付可能です。

学会HP: <https://www.bunken.org/jec/workshop21/seminars/>

登録完了後、郵便振替票付請求書をお送りさせていただきます。参加費は8月30日（金）までにご納入ください（払込期日厳守）。当日の申込みも会場にて受付けております。

■参加申込に関するお問合せはこちら

炭素材料学会9月スキルアップセミナーヘルプデスク

E-mail: tanso-desk@bunken.co.jp

FAX: 03-3368-2827

連合会館（旧称：総評会館）へのアクセス

<http://rengokaikan.jp/access/index.html>



## 第40回 炭素材料学会年会

主 催：炭素材料学会

共 催：(順不同, 予定) 応用物理学会, 日本化学会, 日本セラミックス協会, 日本学術振興会炭素第117委員会

協 賛：(順不同, 予定) エネルギー・資源学会, 環境資源工学会, 化学工学会, 高分子学会, 資源・素材学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本エネルギー学会, 日本吸着学会, 日本金属学会, 日本結晶学会, 日本結晶成長学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学会, 日本生物工学会, 日本生物物理学会, 日本トライボロジー学会, 日本熱測定学会, 日本農芸化学会, 日本バイオマテリアル学会, 日本表面科学会, 日本ファインセラミックス協会, 日本複合材料学会, 日本水環境学会, バイオメカニズム学会, プラズマ・核融合学会, 電気化学会, 情報処理学会, 日本バイオインフォマティクス学会, 石油学会, 触媒学会, 繊維学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 炭素繊維協会, 日本化学繊維協会, 紙パルプ技術協会, 日本ゴム協会, 光化学協会, 有機合成化学協会, ナノファイバー学会, ニューダイヤモンドフォーラム, フラーレン・ナノチューブ・グラフェン学会, 木質炭化学会

後 援：炭素協会

会 期：2013年12月3日(火)～5日(木)

会 場：京都教育文化センター

URL: <http://www2.odn.ne.jp/kyobun/>

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13, 京阪電車「神宮丸太町駅」から徒歩3分

TEL: 075-771-4221, FAX: 075-771-4224

参加費 (要旨集代込) :

事前受付

炭素材料学会正会員・賛助会員・共催・協賛学協会会員 7,000円

炭素材料学会学生会員・協賛学協会学生会員 3,000円

非会員 14,000円

学生非会員 6,000円

当日受付

炭素材料学会正会員・賛助会員・共催・協賛学協会会員 8,000円

炭素材料学会学生会員・協賛学協会学生会員 3,500円

非会員 15,000円

学生非会員 6,500円

懇親会：2013年12月4日(水) 夕刻

会場：京都アートグレイス・ウエディングヒルズ URL: <http://kyw.jp/access/index.html>

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町14-5, 京阪電車「神宮丸太町駅」から徒歩8分

TEL: 075-762-1898

会費：一般7,000円, 学生3,000円

問合せ先：

1. 炭素材料学会事務局 (※学会への入会, 会員登録情報の更新に関するお問合せはこちら)

TEL: 03-5389-6359, E-mail: [tanso-post@bunken.co.jp](mailto:tanso-post@bunken.co.jp)

2. 炭素材料学会ヘルプデスク (※年会参加・発表登録に関するお問合せはこちら)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

FAX: 03-3368-2827, E-mail: [tanso-desk@bunken.co.jp](mailto:tanso-desk@bunken.co.jp)

3. 炭素材料学会年会準備委員会 (※その他の年会全般に関するお問合せはこちら)

〒615-8501 京都市西京区京都大学桂 京都大学大学院工学研究科 安部武志

TEL: 075-383-2487, FAX: 075-383-2488, E-mail: [abe@elech.kuic.kyoto-u.ac.jp](mailto:abe@elech.kuic.kyoto-u.ac.jp)

#### 4. 宿泊について

学会事務局，準備委員会では宿泊などの斡旋は行いません。年会時期の京都は観光シーズンでホテルの空きが少なくなります。余裕をもってホテルの予約をすることをお勧めします。

#### <特別講演>

12月4日(木)午後

桑畑 進教授 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻

「イオン液体の電子顕微鏡観察 (仮題)」

#### ナノカーボン特別セッションおよびインターナショナルセッション

- ・炭素材料関連分野の方々に炭素材料学会年会に参加いただくため，今年もナノカーボン特別セッションを設けます。このセッションでは共催，協賛学会会員であれば，炭素材料学会の会員以外でも講演することができます。
- ・本年はナノカーボン特別セッション内に英語のみの発表のインターナショナルセッションを設けます。本セッションは招待講演と一般講演で構成されます。発表要件はナノカーボン特別セッションと同様で発表および要旨の言語は英語です。一般講演の申込時に分野Dを選択ください。ナノカーボン特別セッションおよびインターナショナルセッションに多数のご参加をお願いいたします。

#### 講演申込について

ナノカーボン特別セッションを除いて，講演者は炭素材料学会の会員であることが必要です。現在非会員の方は8月19日までに入会し，その後に講演申込を行ってください(学会入会に関する問合せ先は，上記問合せ先1.学会事務局まで)。炭素材料学会年会サイト(下記URL)にアクセスし，受付システムからお申込みください。本年もホームページからの申込みとさせていただきます。なお，タイトルや講演概要に上付きや下付きなどの指定がある場合，登録システム内にて告知されているタグをご参照いただき，案内に従ってタグ指定を行ってください。ポスター賞の対象を学生の方に限定しております。お申込みされるときにはチェック項目を設けますので，ご指定ください。

炭素材料学会年会サイト：<http://www.tanso.org/contents/event/conf2013/>

- ・講演者は炭素材料学会の会員であることが必要です(非会員で講演発表を希望される方は8月19日までに本学会入会手続きをいただいた方に限り，発表資格を得ることとなります。期日厳守)。
- ただし，今年度はナノカーボン特別セッションで講演される方のみ共催，協賛学会会員でも可とします。
- ・講演申込の際，下記の分野別リストの中から第一希望，第二希望をお選びください。

#### <分野選択のリスト>

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| A：炭素化・黒鉛化         | B：多孔質炭素・触媒・吸着剤      |
| C：ナノカーボン(特別セッション) | D：ナノカーボン(インターナショナル) |
| E：電気化学(二次電池関連)    | F：電気化学(キャパシタ関連)     |
| G：燃料電池・太陽電池       | H：工業材料：炭素繊維・摺動材     |
| I：エコカーボン・バイオカーボン  | J：複合材料・ダイヤモンド       |
| K：カーボンアロイ・層間化合物   | L：その他(自由記入)         |

- ・講演申込の締切りは8月26日(月)24時です。締切の延長は行いません。
- ・講演申込受理後，受理通知をメールにてご返信します。届かない場合は上記問合せ先2.の年会ヘルプデスク([tanso-desk@bunken.co.jp](mailto:tanso-desk@bunken.co.jp))までお問合せください。
- ・10月上旬に，年会のプログラム概要をホームページに掲載しますので，お申込みをいただきました方は確認をお願いいたします。学会誌「炭素」260号の会告に年会のプログラムを掲載します。

- ・講演要旨の投稿はWeb投稿システムを利用して行っていただきます。炭素材料学会年会サイトから講演要旨テンプレート（A4判1枚）をダウンロードし、原稿を作成のうえ、同サイトからご投稿ください。
- ・原稿投稿締切りは 10月7日（月）15時です。以降の受付は一切行いませんので厳守願います。

#### 年会事前登録について

年会当日の受付時の混雑を避けるため、事前登録を行っております。年会HPから、大会参加登録をウェブ受付で行った後、炭素材料学会正会員・賛助会員の方は学会誌「炭素」259号に綴じ込みの、共催・協賛学協会会員・非会員の方は、登録完了通知内記載の口座宛に、郵便局備付の払込票を利用し、参加費をお支払ください。

（ご注意：年会参加の登録をウェブ上で行わず大会参加費のみを支払われた場合、入金確認がきちんと行われな可能性もあります。必ず年会参加登録をウェブ上で行った後に、参加費をお支払ください。）郵便振替票内の該当する「参加登録」区分に「○」を付け、会員番号、ご氏名などの必要事項をご記入いただき、お近くの郵便局にて参加費をお支払ください。お1人様で1枚の支払取扱票をご利用ください。事前登録は入金確認の都合上、11月13日（水）までにお振込みとさせていただきます。11月14日（木）以降のお振込みは、受付いたしません。当日会場にて参加費をお支払ください。なお、クレジットカードでの決済の場合、申込登録は11月18日（月）まで受付可能です。

#### 発表について

- ・口頭発表は、討論10分を含め20分です。各自PCをご持参ください。
- ・発表形態（口頭発表・ポスター発表の区別）は、プログラム編成に際して変更をお願いする場合があります。

## 第51回炭素材料夏季セミナー（千葉市・幕張）

第51回の炭素材料夏季セミナーを千葉市幕張で開催いたします。今回も、前回と同様に、特別講演会、企業の研究トピックスと会社紹介、ポスター発表を企画しています。

若手が企画するセミナーに対しての皆様のご支援をいただきたく、学生、若手、ベテラン問わず、多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

主 催：炭素材料夏季セミナー実行委員会

共 催：炭素材料学会

協 賛：電気化学会、日本吸着学会（予定）

日 時：平成25年8月26日（月）午後～27日（火）

会 場：メイプルイン幕張（千葉県千葉市幕張本郷1-21-1）

JR幕張本郷駅／京成幕張本郷駅から徒歩2分

定 員：60名

内 容：(1) 特別講演、(2) 企業の研究トピックスと会社紹介、(3) 学生によるポスター発表、  
(4) ライジングリサーチャートーク、(5) 懇親会

### プログラム（予定）

#### ①特別講演会

1) 和田徹也先生（電気化学工業株式会社）

「古くて新しい材料／アセチレンブラックおよびカーボンブラック（仮題）」

2) 吉田 明先生（東京都市大学工学部）

「炭素材料のラマン分光法による構造分析（仮題）」

3) 丹羽 修先生（産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門）

「スパッタカーボン薄膜をベースにした生体分子検出、バイオセンサ開発」

4) 斎藤幸恵先生（東京大学大学院農学生命科学研究科）

「植物細胞モルフォロジーと炭素構造形成」

5) 曾根理嗣先生（宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所）

「化学から宇宙への関わり」

#### ②企業の研究トピックスと会社紹介

参加企業の情報は、炭素材料学会HP (<http://www.tanso.org/>) の「イベント・求人情報」内の「共催・協賛行事」ページにてお知らせいたします。

昨年の参加企業例（順不同）：

東海カーボン(株)、SECカーボン(株)、日本カーボン(株)、日立化成工業(株)、日清紡ホールディングス(株)、大阪ガスケミカル(株)、エア・ウォーター(株)、昭和電工(株)、新日鐵化学(株)、JFEケミカル(株)

#### ③学生によるポスター発表

研究内容を発表できる方を募ります。参加申込みの際に、題目・著者情報・概要をご入力の上、お申込みください。

#### ④ライジングリサーチャートーク

博士後期課程学生を含む若手研究者による講演会

#### ⑤懇親会

**参加費**

共催・協賛学会員 25,000 円，学生 13,000 円，炭素材料学会賛助会員・協賛法人会員 30,000 円，非会員 35,000 円（宿泊費・食費込み）

**参加申込方法**

申込みは今回、WEBからの手続きとなります。下記URLより直接お申込みいただけるほか、炭素材料学会HPのイベント・求人情報「共催・協賛行事」のページ内にある第51回炭素材料夏季セミナーのお知らせからお申込みが可能です。

お申込みはこちらから：[https://www.bunken.org/tanso/summer\\_seminar2013/](https://www.bunken.org/tanso/summer_seminar2013/)

参加費のお支払いは、「当日払い」もしくは「カード決済」をお選びいただけます。事前の銀行振込をご希望される場合は、別途、炭素材料夏季セミナーヘルプデスクへご連絡ください。

**参加申込締切日**

平成25年7月31日（水）（ただし、定員になり次第申込みを締め切ります。）

**■参加申込に関するお問合せはこちら**

炭素材料夏季セミナーヘルプデスク

E-mail: [tanso-summer@bunken.co.jp](mailto:tanso-summer@bunken.co.jp)

**■最新情報はWEBページ (<http://www.tanso.org/contents/event/seminar/summer-seminar51.html>) にて順次ご連絡いたします。**

★★★ 協賛・共催 ★★★

第51回燃焼シンポジウム

主催：日本燃焼学会  
協賛：炭素材料学会ほか  
会期：2013年12月4日(水)～6日(金)  
会場：大田区産業プラザPio  
(〒144-0035 東京都大田区南蒲田一丁目20番20号)  
問合せ先：  
第51回燃焼シンポジウム事務局  
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻  
土橋研究室内  
TEL: 03-5841-7304, FAX: 03-5841-7313  
E-mail: sympo51@combustionsociety.jp  
URL: <http://www.combustionsociety.jp/sympo51/>

第54回高圧討論会

主催：日本高圧力学会  
協賛：炭素材料学会ほか  
会期：2013年11月14日(木)～16日(土)  
会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター  
(〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号)  
申込み先：  
株式会社ボラリス・セクレタリーズ・オフィス内  
第54回高圧討論会事務局  
〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4  
大阪駅前第4ビル9階 923-674号  
TEL: 070-5658-7626 (笹部)  
FAX: 020-4622-1920/06-6345-7931  
E-mail: [tourenkai54@highpressure.jp](mailto:tourenkai54@highpressure.jp)  
URL: <http://highpressure.jp/new/54forum/#>

第34回日本熱物性シンポジウム

主催：日本熱物性学会  
協賛：炭素材料学会ほか  
会期：2013年11月20日(水)～22日(金)  
会場：富山県民会館  
問合せ先：  
〒930-8555 富山市五福3190  
富山大学工学部機械知能システム工学科 平澤良男  
TEL: 076-445-6783, FAX: 076-445-6783

E-mail: [Jstp2013@ml.kanazawa-u.ac.jp](mailto:Jstp2013@ml.kanazawa-u.ac.jp)  
URL: <http://jstp2013.w3.Kanazawa-u.ac.jp/>

第42回先端科学セミナー

主催：電気化学会関東支部  
協賛：炭素材料学会ほか  
会期：2013年7月19日(金)  
会場：上智大学四谷キャンパス中央図書館 L-821 会議室  
(〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町7-1)  
申込み先：  
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-30  
アルス市ヶ谷202 電気化学会関東支部  
TEL: 03-3234-4213, FAX: 03-3234-3599  
E-mail: [ikezuki@electrochem.jp](mailto:ikezuki@electrochem.jp)  
URL: [http://www.electrochem.jp/event/2013\\_0719.html](http://www.electrochem.jp/event/2013_0719.html)

第49回熱測定討論会

主催：日本熱測定学会  
協賛：炭素材料学会ほか  
会期：2013年10月31日(木)～11月2日(土)  
会場：千葉工業大学 津田沼キャンパス  
(〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1)  
問合せ先：  
日本熱測定学会事務局  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601  
TEL: 03-5821-7120, FAX: 03-5821-7439  
E-mail: [netsu@mbd.nifty.com](mailto:netsu@mbd.nifty.com)  
URL: <http://www.lab.toho-u.ac.jp/phar/jccta49/index.html>

第31回関西界面科学セミナー

主催：日本化学会コロイドおよび界面化学部会関西支部・  
高輝度光科学研究センター (JASRI)  
協賛：炭素材料学会ほか  
会期：2013年8月2日(金)13時30分～3日(土)12時15分  
まで  
会場：SPring-8放射光普及棟  
(〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1)  
申込み先：  
〒670-8524 姫路市上大野7-2-1  
姫路獨協大学薬学部 岡村恵美子  
TEL: 079-223-6847, FAX: 079-223-6847  
E-mail: [emiko@himeji-du.ac.jp](mailto:emiko@himeji-du.ac.jp)

炭素カレンダー

主催は太字, ( ) の中は問い合わせ先です

開催月日	会合名称	会 場	
2013年			
6/6-7	第11回木質炭化学会研究発表会 ( <a href="http://www.wcrs.jp/conference.html">http://www.wcrs.jp/conference.html</a> )	朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター	
6/28	<b>炭素材料学会先端科学技術講習会 2013</b> ( <a href="https://www.bunken.org/jec/workshop20/seminars/">https://www.bunken.org/jec/workshop20/seminars/</a> )	京都教育文化センター	257号
7/5	第306回日本学術振興会炭素材料第117委員会* ( <a href="http://www.tanso117.jp">http://www.tanso117.jp</a> )	東京都市大学	
7/14-19	Carbon 2013 ( <a href="http://www.carbon2013.org/">http://www.carbon2013.org/</a> )	Rio de Janeiro, Brazil	
7/19	第42回先端科学セミナー ( <a href="http://www.electrochem.jp/event/2013_0719.html">http://www.electrochem.jp/event/2013_0719.html</a> )	上智大学四谷キャンパス中央図書館L-821会議室	258号
8/2	第31回関西西界面科学セミナー (E-mail: <a href="mailto:emiko@himeji-du.ac.jp">emiko@himeji-du.ac.jp</a> )	SPring-8放射光普及棟	258号
8/26-27	<b>第51回炭素材料夏季セミナー</b>	メイプルイン幕張	257号
8/29	第14回エコカーボン研究会 ( <a href="http://www.hino.meisei-u.ac.jp/es/yoshizaw/eco-carbon/">http://www.hino.meisei-u.ac.jp/es/yoshizaw/eco-carbon/</a> )	福島大学共生システム理工学類後援募金記念棟	258号
9/6	<b>第9回スキルアップセミナー</b> ( <a href="https://www.bunken.org/jec/workshop21/seminars/">https://www.bunken.org/jec/workshop21/seminars/</a> )	連合会館201会議室	258号
9/9-13	5th Conference on Recent Progress in Graphene Research 2013 (RPGR2013)	東京工業大学・蔵前会館	255号
9/13	第307回日本学術振興会炭素材料第117委員会* ( <a href="http://www.tanso117.jp">http://www.tanso117.jp</a> )	東工大	
10/7-9	第54回電池討論会 ( <a href="http://battery.electrochem.jp/symposium54.html">http://battery.electrochem.jp/symposium54.html</a> )	大阪国際会議場	
10/31-11/2	第49回熱測定討論会 ( <a href="http://www.lab.toho-u.ac.jp/phar/jccta49/index.html">http://www.lab.toho-u.ac.jp/phar/jccta49/index.html</a> )	千葉工業大学津田沼キャンパス	
11/14-15	第308回日本学術振興会炭素材料第117委員会* ( <a href="http://www.tanso117.jp">http://www.tanso117.jp</a> )	産業技術総合研究所臨海副都心センター	
11/14-16	第54回高压討論会 ( <a href="http://highpressure.jp/new/54forum/#">http://highpressure.jp/new/54forum/#</a> )	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター	258号
11/20-22	第34回日本熱物性シンポジウム ( <a href="http://jstp2013.w3.Kanazawa-u.ac.jp/">http://jstp2013.w3.Kanazawa-u.ac.jp/</a> )	富山県民会館	258号
12/3-5	<b>第40回炭素材料学会年会</b> ( <a href="http://www.tanso.org/contents/event/conf2013/">http://www.tanso.org/contents/event/conf2013/</a> )	京都教育文化センター	258号
12/4-6	第51回燃焼シンポジウム ( <a href="http://www.combustionsociety.jp/sympo51/">http://www.combustionsociety.jp/sympo51/</a> )	大田区産業プラザPio	258号

\*本委員会への出席は原則として委員あるいはその同伴者となっていますが、希望者はどなたでも自由に参加できます。会員でない民間研究機関からの参加者は入会をお勧めします。なお場所など詳細は、庶務幹事の(独)理化学研究所和光・基幹研究所、小林知洋専任研究員 (E-mail: [t-koba@riken.jp](mailto:t-koba@riken.jp)) まで問い合わせください。

日本学術振興会炭素材料第117委員会第305回委員会

- 日時 平成25年4月12日
- 場所 東京大学本郷キャンパス
- 提出資料
  - ・マグネシウムをインターカレートしたBC<sub>2</sub>N層間化合物の化学結合状態と電気特性  
○川口雅之<sup>1</sup>, 土岐和也<sup>1</sup>, 榎本博行<sup>1</sup>, 村松康司<sup>2</sup> (大阪電通大<sup>1</sup>, 兵庫県立大<sup>2</sup>)
  - ・リチウムをドーピングしたゼオライト鋳型炭素への水素吸着  
大嶽文秀, 西原洋知, ○京谷 隆 (東北大多元研)
  - ・Pyroid(R)HTの薄板試料と表面劈開薄片試料のX線004回折  
○菱山幸宥<sup>1</sup>, 吉田 明<sup>2</sup>, 鏑木 裕<sup>2</sup> (東京都市大名誉教授<sup>1</sup>, 東京都市大工<sup>2</sup>)
  - ・BBLポリマーから調製した網面が水平あるいは垂直配向した炭素薄膜の評価  
○小田原玄樹, 曾根田 靖, 吉澤徳子, 児玉昌也 (産総研)
  - ・カーボンコーティングに関するレビュー  
○稲垣道夫 (北大名誉教授)
- 次回以降の開催予定
  - 第306回 7/5(金) 東京都市大
  - 第307回 9/13(金) 東工大
  - 第308回 11/14(木), 15(金) 産総研 (14(木)は東アジアカーボンシンポジウム)